

平成17年度

# 事業計画書

自 平成17年4月 1日

至 平成18年3月31日

財団法人 北海道科学技術総合振興センター

## 平成17年度 事業計画の策定にあたって

北海道経済は、一部に改善の動きがみられるものの、全体としては依然厳しく、その活性化が緊急の課題となっています。

このため、道においては、17年度の重点政策として本道経済をリードする産業の育成・振興をめざす「北海道ブランド」の創出を推進するため、限られた資源を最大限有効活用する取り組みを重点的に展開するとしています。

このような状況の中で、北大北キャンパスの知的資源を活用する北大リサーチ&ビジネスパーク構想の進展をはじめ道内各大学を中心とする積極的な産学官連携の動き等北海道経済の自立に向けた取り組みが拡大しております。また、バイオクラスターとしての札幌周辺地域が2004年12月の日経バイオビジネスにおいて全国ランキング2位の評価を受けたところです。

財団としては、このような動きを相互に連携させ支援するとともに、広く道内の産学官から寄せられる期待に応えられるよう、研究開発支援事業、産業クラスター創造事業人材育成事業等幅広い事業活動を積極的に展開することとしています。

## 平成17年度 事業計画策定の基本方針

当財団は設立以来、北海道における科学技術及び産業技術の一層の向上をめざして、産学官連携による各種事業を総合的横断的に実施し、その成果が事業化に結びつく支援体制を確立してきたことにより、北海道産業の振興及び活力ある地域経済の実現と道民生活の向上のため相応の成果を上げてきました。

平成17年度は、これまでの経験と実績をふまえ、より一層の成果をあげるため組織の弾力的運用に努めるとともに、独創的な技術・研究開発の展開と基礎研究から実用化・事業化まで一貫した支援活動の推進を図るため、次の点に重点をおいて事業を実施するものとする。

また、広報についても広く道民等にお知らせすることが必要との観点から、積極かつ効果的な活動に努める。

### 1. 研究開発支援事業の一層の強化

産学官連携による独創的な技術・研究開発の推進を図るため、基礎研究から事業化・実用化までの一貫した支援活動体制を維持し、活力ある地域経済の実現を図る。

特に「知的クラスター創成事業」（札幌ITカロッツェリア構想）や「次世代ポストゲノム研究推進事業」「幌延地圏環境研究事業」について引き続き推進を図っていくほか、各種支援施策の積極的な導入に努めていく。

### 2. 事業化・実用化支援事業の更なる展開

産業集積が薄く、経済主体が各地に点在している北海道において、地域経済の活性化を図るためには、それぞれの地域の潜在能力を最大限に発揮し、知恵と工夫の競争が必要との認識から、道内29のクラスター研究会、各地域の企業並びに産業支援組織との交流・連携を図りながら、産業クラスターの更なる事業展開に取り組んでいく。

また、地域から提案のあったビジネスプランを検討し、専門家によるコーディネーター機能を活用し、事業化・実用化の実現を支援していく。

### 3. 普及啓発・人材育成事業の推進

バイオ、ITなどの先端科学研究分野の普及啓発に努め、これら分野での情報受発信のための講演会や技術交流フォーラムを開催するとともに北海道最大の産業ビジネス展示会として定着している「北海道技術・ビジネス交流会」を引き続き支援していく。

また、経済の自立、競争力強化のためには人材の発掘・育成が必要との観点から人材育成のための事業を推進する。

### 4. 産学官連携機能の強化

北大リサーチ&ビジネスパーク構想の推進にあたっては、「北大リサーチ&ビジネスパーク構想推進協議会」のもとに知的資源の活用を図っていくとともに、コラボほっかいどうを拠点とする産学官連携・交流を推進する。

## 平成 17 年度 事業計画の内容

### 1. 研究開発支援事業

各種支援施策の積極的な導入に努め活力ある地域経済実現のため、産学官の連携による独創的な研究開発の推進を図る。

#### (1) 産学官交流事業

産学官の連携により、バイオと I T を中心としたビジネスアイデアの創造、製品開発、事業化に係わる研究開発プロジェクトの立ち上げ支援を行う。

- ① バイオ産業クラスター・フォーラム事業
- ② 情報産業クラスター・フォーラム事業

#### (2) 産学官研究開発調査事業

日本自転車振興会の補助金を活用して、先端技術やデザイン開発に伴う課題・問題点の調査・検討を行う。

- ① ナノテクノロジー技術開発促進調査事業
- ② ものづくり産業高度デザイン開発調査事業
- ③ 研究開発シーズ事業化推進事業
- ④ 技術開発事業案件ビジネス推進事業
- ⑤ 製造業競争力強化事業

#### (3) 産学官共同研究プロジェクトの推進

国等の研究開発支援施策の導入を図り、産学官連携による技術シーズの応用・実用化段階までのプロジェクトマネジメントを行う。

また、次世代型技術研究開発に対する支援を行い新産業の創出を図る。

- ① 地域新生コンソーシアム研究開発事業
- ② 次世代型技術研究開発事業
- ③ 地域技術活性化研究開発事業
- ④ 次世代ポストゲノム研究推進事業

#### (4) 研究開発助成事業

若手研究者や萌芽的共同研究の育成や産業化につながる研究開発シーズに助成を行う。

- ① 若手研究者育成支援事業
- ② 共同研究グループ支援事業
- ③ 研究開発シーズ育成事業
- ④ 産業創造技術研究支援事業
- ⑤ 戦略的研究開発支援事業

#### (5) 知的クラスター創成事業

サッポロバレーに代表される地域ポテンシャルを生かして、ソフトウェア、ハードウェア構築技術とデザイン技術の融合による新産業領域の創出に向けた「札幌 I T カロツエリア」の実現をめざす。

- ① 札幌 I T カロツエリア構想

(6) 地圏環境研究事業

北海道北部の地盤特性や地下空間利用、生息する微生物の研究など地球科学研究の推進を図る。

①幌延地圏環境研究事業

2. 事業化・実用化支援事業

道内29のクラスター研究会、各地域の企業並びに産業支援組織との交流・連携を図りながら、地域から提案のあったビジネスプランを検討し、専門家によるコーディネート機能を活用し事業化・実用化の実現を支援する。

(1) クラスタープロジェクト発掘・開発事業

プロジェクトテーマを発掘し、市場性、技術等の検討を重ね、ビジネスプランを作成するとともに、コーディネーターが中心となりプロジェクトのブラッシュアップを行う。

①地域コーディネーター事業

②事業化計画検討会議

③プロジェクト事業化支援事業

④事業化促進支援事業

(2) クラスタープロジェクト・フォローアップ事業

道内29の地域研究会や地域の産学官との連携を図り、地域の産業クラスター活動を支援するとともに、事業化・実用化に向けた支援を行う。

①地域の仕組みづくり事業

3. 普及啓発・人材育成事業

科学・技術の振興発展に資するため、総合的な普及啓発・人材育成事業を推進するとともに、北海道技術・ビジネス交流会を支援する。

(1) 普及啓発講演会の開催

①科学技術・産業技術に係る各種交流会、研究発表会開催

②若者層を対象としたエネルギーキャラバン開催

(2) 人材育成セミナーの開催

①知的財産セミナー開催

(3) 技術交流事業

①コラボレーションフォーラム開催

②北海道技術・ビジネス交流会支援

4. 産学官連携事業

北大リサーチ&ビジネスパーク構想推進協議会のもとに事業の推進を図るとともにコラボほっかいどうを拠点とする産学官連携の促進を図る。

(1) 北大リサーチ&ビジネスパーク構想支援事業

①コア・コーディネーター事業

②インキュベーションモデル事業

③MOTプログラムモデル事業

(2) 「コラボほっかいどう」の運営管理

5. その他関連事業

(1) 調査研究受託事業

- ① J I C A 研修事業
- ② 特許流通アドバイザー事業

組織図（事務局）

